



## 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月7日

上場取引所 東

上場会社名 オルガノ株式会社

コード番号 6368 URL <http://www.organo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 内田 裕行

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長

(氏名) 浜田 豪一

TEL 03-5635-5111

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	43,197	11.2	2,079	19.9	1,885	25.9	701	△13.3
23年3月期第3四半期	38,850	10.7	1,733	—	1,498	—	808	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 553百万円 (△33.5%) 23年3月期第3四半期 832百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	12.17	—
23年3月期第3四半期	14.04	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	83,668	—	40,941	—	48.5	—
23年3月期	78,590	—	41,116	—	51.8	—

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 40,606百万円 23年3月期 40,748百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	4.00	—	6.00	10.00
24年3月期	—	6.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	67,000	9.7	4,000	13.2	3,800	12.5	2,100	13.0	36.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	57,949,627 株	23年3月期	57,949,627 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	329,369 株	23年3月期	323,898 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	57,623,291 株	23年3月期3Q	57,634,856 株
----------	--------------	----------	--------------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後の生産活動の復旧により、緩やかな景気持ち直しの動きがみられますが、欧州の債務危機を発端とした海外景気の下振れや、長引く円高などを背景に先行き不透明なまま推移しました。

当社グループを取り巻く市場環境は、海外では中国などアジア地域の新興国での経済成長率に鈍化がみられ、国内では設備投資につき震災の復旧などによる持ち直しの動きもみられますが、顧客工場の統廃合や海外移転などにより低調に推移しており、生産活動についてもタイの洪水の影響等により、回復の動きに一服感がみられました。

このような状況のもと、当社グループは震災の復旧に対応するとともに、産業全般・海外分野での営業体制を強化し、一層のコストダウンによる収益の改善に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間は受注高54,663百万円（前年同期比14.9%増）、売上高43,197百万円（同11.2%増）、営業利益2,079百万円（同19.9%増）、経常利益1,885百万円（同25.9%増）、四半期純利益701百万円（同13.3%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### [水処理エンジニアリング事業]

当事業においては、アジアにおける電力分野や国内における震災の復旧対応も含めた産業全般での受注が増加し、メンテナンスや改造工事などのソリューションビジネスを中心に電子産業分野及び一般産業分野での売上が増加した結果、受注高39,820百万円（前年同期比22.9%増）、売上高29,249百万円（同21.0%増）、営業利益1,100百万円（同102.8%増）となりました。

#### [機能商品事業]

当事業においては、震災や節電対応などの影響を受けた生産活動の持ち直しの動きが弱まっており、顧客工場の操業度低下などにより売上が低調に推移した結果、受注高14,842百万円（前年同期比2.1%減）、売上高13,947百万円（同5.0%減）、営業利益979百万円（同17.8%減）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末に比べ5,077百万円増加し、83,668百万円になりました。これは主に、受取手形及び売掛金3,671百万円の減少、リース投資資産3,635百万円及び仕掛品を中心としたたな卸資産4,046百万円の増加によるものであります。

##### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べ5,252百万円増加し、42,726百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金1,427百万円及び借入金5,167百万円の増加によるものであります。

##### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ174百万円減少し、40,941百万円になりました。これは主に、その他有価証券評価差額金57百万円及び為替換算調整勘定89百万円の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の業績は比較的順調に推移したものの、欧州の債務危機を発端とした海外景気の下振れや、長引く円高などを背景に、景気の先行きに不透明感が強く、設備投資や生産活動の動向は楽観できない状況であることから、平成23年5月12日発表の従来を通期業績予想は変更しておりません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

○税金費用の計算

税金費用については、「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」第19項の規定により、「中間財務諸表等における税効果会計に関する実務指針」第12項（法定実効税率を使用する方法）に準じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,126	13,651
受取手形及び売掛金	24,387	20,715
リース投資資産	2,619	6,255
商品及び製品	2,786	4,124
仕掛品	5,797	8,447
原材料及び貯蔵品	812	870
繰延税金資産	1,062	1,064
その他	1,028	2,580
貸倒引当金	△68	△29
流動資産合計	52,550	57,681
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	18,959	19,479
減価償却累計額	△10,870	△11,252
建物及び構築物（純額）	8,089	8,226
機械装置及び運搬具	4,739	4,877
減価償却累計額	△3,917	△4,047
機械装置及び運搬具（純額）	822	830
土地	12,335	12,530
建設仮勘定	902	731
その他	3,612	3,775
減価償却累計額	△3,026	△3,171
その他（純額）	585	603
有形固定資産合計	22,734	22,923
無形固定資産	369	342
投資その他の資産		
投資有価証券	868	679
繰延税金資産	1,785	1,630
その他	393	577
貸倒引当金	△111	△166
投資その他の資産合計	2,935	2,720
固定資産合計	26,039	25,986
資産合計	78,590	83,668

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,922	16,349
短期借入金	7,933	8,851
未払法人税等	1,079	322
前受金	1,492	2,296
繰延税金負債	2	2
賞与引当金	888	350
製品保証引当金	303	189
工事損失引当金	481	200
災害損失引当金	131	33
その他	2,594	2,317
流動負債合計	29,827	30,914
固定負債		
長期借入金	3,454	7,704
繰延税金負債	3	1
退職給付引当金	4,071	4,007
その他	117	99
固定負債合計	7,646	11,811
負債合計	37,474	42,726
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,225	8,225
資本剰余金	7,508	7,508
利益剰余金	25,516	25,526
自己株式	△317	△320
株主資本合計	40,932	40,939
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	108	51
繰延ヘッジ損益	0	△0
為替換算調整勘定	△293	△383
その他の包括利益累計額合計	△184	△332
少数株主持分	368	335
純資産合計	41,116	40,941
負債純資産合計	78,590	83,668

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	38,850	43,197
売上原価	28,005	31,468
売上総利益	10,845	11,728
販売費及び一般管理費	9,112	9,649
営業利益	1,733	2,079
営業外収益		
受取利息	24	25
受取配当金	16	25
固定資産賃貸料	26	25
その他	42	45
営業外収益合計	109	121
営業外費用		
支払利息	123	93
為替差損	106	101
持分法による投資損失	76	93
その他	37	26
営業外費用合計	344	315
経常利益	1,498	1,885
特別利益		
固定資産売却益	2	9
投資有価証券売却益	—	7
貸倒引当金戻入額	15	—
特別利益合計	17	17
特別損失		
固定資産廃棄損	19	7
投資有価証券評価損	8	—
施設利用権評価損	4	—
特別損失合計	32	7
税金等調整前四半期純利益	1,482	1,894
法人税等	646	1,164
少数株主損益調整前四半期純利益	836	730
少数株主利益	27	29
四半期純利益	808	701

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	836	730
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△22	△56
繰延ヘッジ損益	△1	△0
為替換算調整勘定	19	△119
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△1
その他の包括利益合計	△4	△177
四半期包括利益	832	553
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	799	553
少数株主に係る四半期包括利益	32	△0

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	水処理エンジ ニアリング 事業	機能商品 事業	計	
売上高				
(1) 外部顧客に対する売上高	24,174	14,676	38,850	38,850
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	24,174	14,676	38,850	38,850
セグメント利益	542	1,191	1,733	1,733

(注) セグメント利益は、営業利益ベースの数値であり、四半期連結損益計算書の営業利益との間に差異はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	水処理エンジ ニアリング 事業	機能商品 事業	計	
売上高				
(1) 外部顧客に対する売上高	29,249	13,947	43,197	43,197
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	29,249	13,947	43,197	43,197
セグメント利益	1,100	979	2,079	2,079

(注) セグメント利益は、営業利益ベースの数値であり、四半期連結損益計算書の営業利益との間に差異はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

該当事項はありません。